



ひきこもる若者/オトナの困りごと ～多様なアプローチを手がかりに～

ゲストスピーカー(当日のスピーチ順):

- | | |
|------------------------|--------|
| <1>NPO法人ピアサポートネットしづや | 石川隆博さん |
| <2>NPO法人教育サポートセンターNIRE | 中塚史行さん |
| <3>公益社団法人青少年健康センター | 倉光洋平さん |
| <4>しんじゅく若者サポートステーション | 櫻山清子さん |

コーディネーター: 明治学院大学社会学部教授 八木原律子

* 以下の内容は、ゲストスピーカーによる講演内容の一部をまとめたものです。

<4>しんじゅく若者サポートステーションセンター 櫻山清子さんより

地域若者サポートステーションとは？

- 40歳未満の若者で職業的自立に向けて、多様な課題を抱える無業者を対象に、就職による自立の実現を目的として、厚生労働省が措置する事業。
- 原則通所型で、就職・自立に結びつく、きめ細かい支援を展開する拠点。
- 平成18年から10年間で約10万人が就職。現在は全国174ヵ所で展開。
- サポステの利用は原則無料です。

●来所者の抱えている課題

- ・退職後又は学校卒業後ブランクがあり働きたいが自信がない。
- ・コミュニケーションが苦手このままでは面接で受かる気がしない。
- ・働いた経験がなく、自分に出来る仕事があるか判らない。
- ・不登校、中退、ひきこもり等の経験があり、就労のための準備が必要… など



地域若者サポートステーションは、厚生労働省が設置し、NPO法人等の団体が受託し運営しています。住まいに関係なく利用でき、就労を目的とした相談支援をしています。地域若者サポートステーションは、年齢39歳までの働きたいという気持ちをもつ若者が相談に来る所で「サポステ」と呼ばれます。現在、全国に174ヵ所、平成18年度から東京都内には新宿、世田谷、板橋、足立にあります。

課題としては、退職後または学校卒業後にブランクがあり、働きたいけど、面接が難しい、自信がない、コミュニケーションが苦手、また働いた経験がなく自分にできることがあるかわからない、継続的に働くにどうすればいいかわからないと悩む人たちの相談を受けています。

不登校やひきこもりの経験があり、面接で過去の空白の時間をどう説明すればいいだろうと考え、自分は働けないし経済的自立は無理だと、ひとりで悩んでいます。家族に、「バイトでもすればいいんじゃないの」と言われても、なかなか外へ出られないし、ハローワークに行ってみたが、どこに応募していいかもわからず、自分には働くことは無理と諦め、ひきこもりの時間が長くなった人を支援しています。

しんじゆくサポステの概要①



●NPOとしてのミッションと若者自立支援に係る専門性に、地方公共団体、教育・福祉分野などの各分野の関係機関のご協力を得て展開しています。ご家族の相談も行っています。

●支援内容…個別相談を中心に利用者の状況に応じた支援計画(セミナー、ボランティア体験、職場体験等)の効果的な利用提案しながら、自己理解を深め、問題解決のためのトレーニングを行います。
様々な社会資源(地域のネットワーク・法人内ネットワーク・民間企業)との連携を活用しています。

3

まずアルバイトからです。経験は本当にスモールステップです。自信のなかった若者たちが、経験をして、自分の不安を少しずつ薄めて就労に結び付けています。

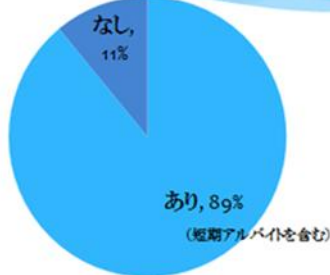
しんじゆくサポステの概要②



- 相談員数 …6名(内非常勤3名)キャリアコンサルタント
- 運営母体 …NPO法人ワーカーズコープ
- 開所 …平成20年7月1日
- 所在地 …新宿区高田馬場3丁目8-5安永ビル2F
- アクセス …JR山手線 高田馬場駅 早稲田口から徒歩5分
東京メトロ東西線 高田馬場駅 から徒歩5分
西武新宿線 高田馬場駅 から徒歩5分

4

28年度 職業経験状況



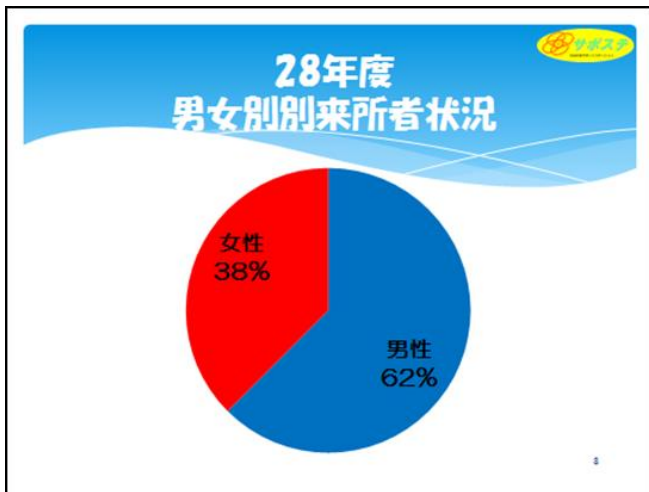
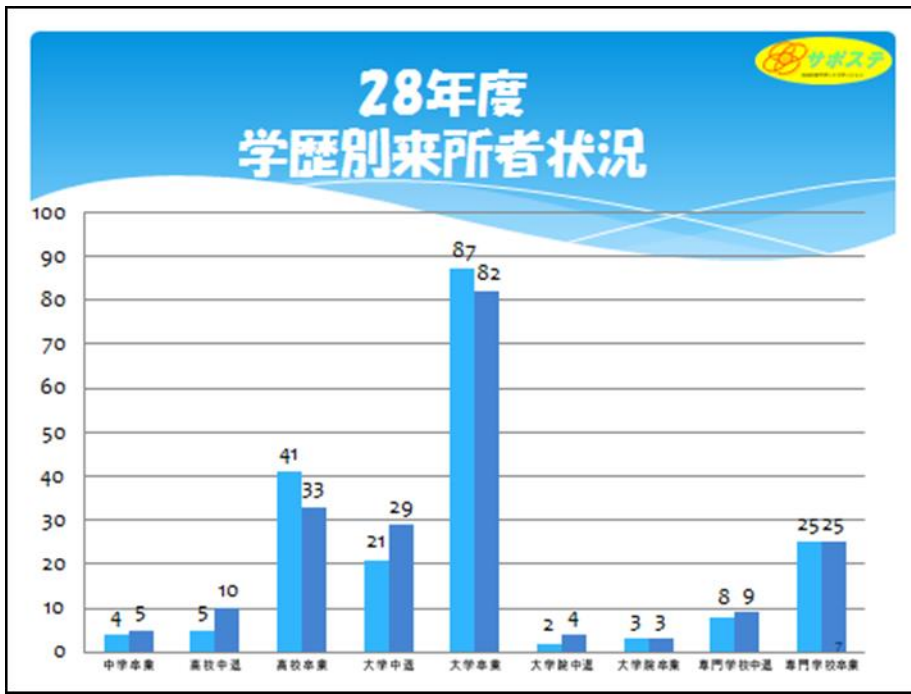
5

28年度 年齢別来所者状況



6

週1回の引っ越し屋の手伝いも含め、働いた経験のある人が89%です。年齢別では20代後半が最多33%で、30代前半、20代前半が続きます。



学歴は大学卒業が半分くらいを占めています。大学を卒業し、親の期待に応じて働こうと思ったができなかったと、本人は24時間悩んでいます。でも相談に来る保護者は、「うちの子は何もしないで夜中に起きてゲームをしている」と言います。そもそもの認識のずれがあり、「バイトでもしたらどう?」「携帯のお金、立て替えてあるから、それも稼いで返してね」等々、5年、10年たつと親子の会話もなくなります。時間をかけてサポステに辿り着いています。支援者の方たちから、サポステがあることをぜひ案内してください。

来所者は、例年60%から70%近くまで男性です。最近、女性も少し多くなりました。

サポステのセミナー①

コミュニケーションを意識したプログラム

初級レベルのボランティア体験「切手整理」から中級レベルのコミュニケーションスキルアップセミナーまで、サポステのプログラムは多くの利用者の課題である「コミュニケーションに慣れる」プログラム構成が多めです。参加の前に見学から始められます。

ボランティア体験「切手整理」

コミュニケーション スキルアップセミナー

セミナーは、コミュニケーションを意識したプログラムがメインです。初級レベルは、切手整理のボランティア体験があります。近隣のNPOと連携しています。室内で切手を整理する仕事に参加するところからです。コミュニケーション・スキルアップセミナーに参加できない人たちは、見学から案内します。見学して状況を見て、少し参加してもいいと思えば次回から参加します。内容はワーク中心に展開します。見学して慣れてから参加することが多いです。コミュニケーションを得意にしようではなく、人の中に入って慣れることを中心にしています。

サポステのセミナー②



自己理解のためのセミナー

- 誰でも持っている「折れない心」の創り方
- 心理テスト～自分の性格を知ろう！～
- アドラー心理学を学ぶ
- メンタルトレーニング

10

いろいろな認識のゆがみがあり、自己理解はとても難しいので、セミナーを幾つか準備しています。ポジティブ心理学的な「折れない心」の創り方は、今のままでいいと言ってあげます。自分の長所を見つけるとか、働けない状態もあっていいし、現在の状況を自分で肯定できるようになると少し安心できます。とても人気で、安心できるセミナーなので、何回も参加される方もいます。終わった後はみな表情が生き生きします。

自分の性格を知り対応していこうというセミナーもあります。月1回来る発達障害専門のスタッフが行い、それぞれの課題に向き合います。

「アドラー心理学を学ぶ」セミナーも、就職をした卒業生対象に土曜日に月1回行ってっています。現在通っている人も参加します。「メンタルトレーニング」は、看護師や精神科医によるNPO法人の専門家に来てもらっています。

サポステのセミナー③



●お金セミナー

1人暮らしに必要なお金について学ぶ。税金・保険・ローン・クレジットについて学ぶ

●自己分析セミナー

アセスメントツールを使い、グループワークを通して自分の適職を考える

●就職準備と進め方セミナー

ハローワーク新宿のスタッフによる求人票の読み方

●ハローワーク見学会

ハローワーク新宿で見学とPCによる求人票検索の仕方やセミナー見学、職業訓練の案内など

●家族セミナー

若者の家族に出来る支援の在り方、接し方、手放し方、をワーク等を通して気づき理解する保護者向けセミナー

11

「お金セミナー」は、一人暮らしをするために重要なお金について学びます。働くことは、お金を稼いで経済的に自立することです。税金や保険、年金のことも学びます。

「自己分析セミナー」は、ハローワークのスタッフが担当します。ハローワークを苦手な人が多くハードルが高いです。窓口の対応などでみな結構傷ついています。ハローワーク担当者に来てもらい顔をつなぎ、その後サポステが予約し、その担当者につなぐことにより応募の段階に進む人もたくさんいます。「就職準備と進め方セミナー」「ハローワーク見学会」もします。「家族セミナー」は保護者向けです。

サポステのセミナー④



●ビジネスマナー

挨拶、敬語、電話などの苦手意識を克服するためのセミナー

●お仕事講話

各分野の企業様の協力で実施。職業分野の理解のためにあまり関心のない分野も参加を勧め、職業の理解を深めながら自分の適職を探すためのセミナー。セミナー後、希望者は職場見学・職場体験も可能

●ホンキの就職4days・ホンキの就職1day

仲間作りを通して自己理解を深め、自分の可能性を広げ就職に向けて行動できるようになることが目標。就活を孤独に1人で行うのではなく、グループワークで就職準備から本気の就職を目指すセミナー

12

「ビジネスマナー」は、キャリア教育を受講していない人が挨拶や敬語の勉強をします。電話を取ることが苦手な人が多いですが、練習して不安を薄める効果があります。

「お仕事講話」はとても人気です。いろいろな企業の人を招き、こういう仕事をしていて、見学会はいつでも等、実際に職場体験や就労体験の案内をします。